

# 令和8年度 事業計画

社会福祉法人 恵徳会

# 令和8年度 社会福祉法人恵徳会 事業計画

## I 事業目標

「経営の充実と法人経営の安定を目指す」

## II 本部目標

1. DX や AI 等、様々なシステムが日々生み出される中、一層の業務改善が必須となっている。各拠点の業務改善並びに生産性向上に関する提案を行うには、情報のアンテナを張り巡らせ、近隣法人等で積極的な取り組みをされている所に実際に足を運び、開催される研修に参加した際は、きちんと法人や職員へ還元する。
2. 人材育成の面では、経営に携わる次世代の育成に引き続き取り組む。具体的には、法人運営にも実際に加わってもらうほか、理事会運営や各種法人会議の運営についても世代交代を図る。外国人職員の採用も予定されていることから、早期に戦力となるよう、業務面のみならず生活面もサポートできる体制を整える。
3. 法人の健全な経営を行う上で、各事業所の収支バランスの取れた事業に向けて稼働率の確保、支出項目の見直し等に取り組む。

## III 具体的計画

1. 「継続性のある法人運営のための経営基盤の強化」
  - (1) 各拠点が責任をもって目標値の管理を行えるよう、必要な支援を行う。
  - (2) 利用者確保に向けて、各事業所の特性に沿ったサービスが提供できるよう関係職種と密に連携し情報共有に努め、新規開拓を積極的に行う。
  - (5) 営業活動を通して、ニーズの把握や共有を図り、サービス向上を行う。また散見される問題の整理と打開策の提示、今後の発展に向けた取り組みを実施する。
2. 質の高いサービス提供のための人材育成と環境整備
  - (1) 生産性向上・業務改善
    - ① 加算取得に向けた取り組みを早急に進めるほか、各拠点で行われている生産性向上・業務改善に関する取り組みについて、情報を共有する
  - (2) 利用者・家族のニーズの把握、課題の分析、実践を行う。
    - ① 法人理念の周知及び具現化に向け、基本姿勢の実践を行う。
    - ② 事業所の課題分析を行い、改善等に取り組む。
  - (3) 安定した経営
    - ① 支状況を把握し、中長期における安定した経営に向けての経営計画、資金確保を行う。
    - ② 人事、利用稼働率向上、経費等の効率化を行う。キャリアパスの更なる活用のための見直しを行う
  - (4) 感染対策
    - ① 利用者・職員の体調管理を行い、体調不良時は早期対応、感染防止に努める。
    - ② 感染者が発生時、感染拡大防止対策(ゾーニング等)、法人内の職員協力体制・感染対策物品の支援等、BCP(事業継続計画)に基づき行動する。
3. 職員が元気に働ける組織づくり
  - (1) 法人全体で、次世代の人材育成に取り組み、役職・経験等に応じた研修を定期的実施し、

外部研修へ積極的な参加を推進する。

- (2) 法人内スクール及び各種団体による受講費の助成等を行い、資格取得のための支援を行う。
- (3) 多様な働き方に対する雇用形態等の検討を行い、適正な職員確保、働きやすい労働環境の整備等を行い離職防止に取り組む。
- (4) ICT 化による業務の効率化や業務改善を進め労働環境の改善に努め、良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくりを目指す。また、生産性向上ガイドラインに基づいた業務改善を継続的に実施できるよう働きかけを行う。
- (5) 求人活動を充実させるとともに、施設環境整備、職員の要望等の顕在化を図り、離職防止に取り組む。
- (6) 新職員に対する研修計画において、勤務開始後の不安解消や精神的なフォローを行いながら、ステップアップしていることが実感できるよう支援する。
- (7) マンパワー不足の解消と、職場の活性化に繋げるため、EPA 介護福祉士候補生や(特定)技能実習生の受け入れを積極的に行い、彼らが資格取得や早期戦力となるように支援を行う。
- (8) パワーハラスメント、セクシャルハラスメント等が起こらないよう、情報収集、研修等を行い、万が一ハラスメント等発生した際は、早期解決を図る等、働きやすい職場環境を整える。
- (9) ホームページの職員採用ページの見直し及び、ハローワーク等の求人内容を充実させ、求職者が働きたいと思えるような職場環境や福利厚生等の改善を行い、法人内の職員の様子もインスタ等の SNS を通して発信していく。

#### IV. 諸会議

- (1) 定例の役員会及び監査指導、諸会議等を下記により実施する。

会議項目	開催予定日	会議・監査の内容
1、理事会	第1回 令和8年 6月	定時/7年度第4四半期報告 7年度事業報告、決算報告、 理事・監事選任
	第2回 令和8年 9月	定時/第1四半期事業報告、補正等
	第3回 令和8年12月	定時/第2四半期事業報告、補正等
	第4回 令和7年 3月	定時/第3四半期事業報告、補正、 8年度事業計画・予算等
2、評議員会	第1回 令和8年 6月	定時/事業報告、決算等
3、監事監査	第1回 令和8年 6月	7年度事業報告・決算関係の監査
5、施設長会	毎月1回	法人・施設運営関係の協議
6、運営会議	随時	理事会・評議員会議案関係の協議
7、幹部職会議	毎月1回	月次報告(各事業所・各種委員会) 提案事項等の協議
8、任意監査	5月、11月、2月	会計士による会計監査、業務指導及び決算 監査等
9、各種委員会	随時	企画、研修、広報、防犯・防災委員会

## 令和8年度 恵徳会ライフレスキュー事業計画(案)

### I 事業目標

「社会福祉法人として目に見える形で公益活動を実践する」

### II 事業所目標

ライフレスキュー連絡会や関係機関との連携を十分に図り、必要な制度やサービスにつなげる。

### III 具体的計画

#### 1、サポーターの配置並びに総合生活相談活動

- (1) 各事業所にサポーターを配置し相談の際は、ライフレスキュー連絡会や関係機関と連携を図り対応します。
- (2) サポーター養成研修を受講し、ライフレスキュー事業の推進とサポーター増に努めます。

#### 2、経済的援助

- (1) 経済的援助の必要性を判断した場合は、施設長の判断により経済的援助を行います。
  - ① 具体的な援助方法として、生活が安定するまでの家具・家電製品(リユース品)の支給や既存制度(生活保護や日常生活自立支援事業)が適用されるまでの食料品の購入を行います。
  - ② 家具や家電製品(リユース品)の支給に備え、随時、職員の家庭で不要になった物品を確保します。

#### 3、地域での連絡会、研修会への参加

- (1) サポーターは課題の共有や相談援助技術の向上を目的として各種研修会等に参加します。
  - ① サポーター養成研修会
  - ② 各地区でのライフレスキュー連絡会
  - ③ 相談援助技術研修会(事例検討会)

# 令和8年度 特別養護老人ホーム恵昭園 事業計画

## I 事業目標

「施設運営の経営の充実と法人経営の安定を目指す」

## II 施設目標

利用者に喜びと生きがいを持っていただけるよう、信頼と理解を深め、ケアの質の向上を図る。

## III 具体的計画

### 1. 「持続性のある法人運営」のための経営基盤の強化

#### (1) 安定した利用実績の達成

① ベッド稼働率を維持し月次・年間目標値を達成します。(年間目標値:平均47.5名/日)。

・円滑な入所調整とスムーズな受け入れ・入所申込者への定期的な状況確認

・入院および長期入院の予防に資する観察や早期アプローチ

・緊急性などを考慮した新規申込者の積極的受け入れ

② 法人本部と協力し営業・広報活動に努め、新規申込者(待機者)の確保に繋がります。

#### (2) 適正な予算管理と事務業務

① 職員全員が事業所の収支状況・収入増加・コスト削減を意識し、サービスの見直し・業務効率化を推進します。

② 予算に基づいた収支管理、介護・利用料請求、預り金管理、保険証等管理を適正に行います。

③ 新たな加算の取得に取り組みます。

#### (3) 地域貢献活動

① 地域や外部機関・団体との関係性を継続し、多くの職員が関われるように努めます。

・須恵町(事業所連絡会、社会福祉協議会、地域包括支援センター)・上須恵区行事・オレンジリンクかすや

・ふくおかライフレスキュー事業・認知症サポーター養成講座・小学校 GT など

② 自然災害等の有事の際は、福祉避難所としての機能を確保します。

### 2. 質の高いサービス提供のための人材育成と環境整備

#### (1) 利用者の尊厳の固持とサービスの充実・向上

① サービス検討委員会を中心にサービスの維持・向上を図ります。

・介護サービス委員会を再構築し、サービス向上に向けた積極的な取り組み

・行事・レク委員会を中心に季節を感じる環境作りや利用者に応じた行事等の企画・実施

・生産性向上委員会を中心に業務効率化や業務改善を推進

② 各職種が率先して利用者・家族との関係性を深め個別ケア(ケアプラン)を実践します。

③ 廃用症候群予防や機能維持ができるリハビリテーションと生活支援を実践します。また、必要な福祉用具・介護機器を導入します。

④ 関係職種や給食委託業者との連携し、健康維持や満足度の向上につながる給食サービス・栄養マネジメントを実践します。

⑤ 褥瘡対策委員会を中心に『褥瘡ゼロ』を継続します。

・日々の観察と早期対応・褥瘡予防アセスメントの評価と活用・予防および治癒対策の実践

⑥ 身体拘束適正化委員会・虐待防止委員会を中心に身体拘束・虐待防止の理解を深めます。

・関係法令の学習と遵守・不適切なケアの改善(職員セルフチェック、早期発見チェック他)

・職員のストレスケアへの取り組みの推進(ストレスチェック他)

⑦ 家族と良好な関係を保ちます。

- ・アンケートの実施・面会時の情報提供・面会制限に伴う心理的負担へのアプローチ
  - ・制度改正等に伴う情報提供と同意への迅速な対応
  - ⑧ ITを活用した業務改善及び効率化を図ります。
    - ・各種ソフト(介護、勤怠、会計、給与)の積極的活用・ペーパーレスへの取り組み
  - (2) 健康状態の維持と医療連携
    - ① 高齢者の特性を理解し急変時等に速やかな対応が取れるよう医療と連携を図ります。
      - ・情報収集や心身の状態把握・定期健診の実施・嘱託医師との連携・家族の意向確認
      - ・医療ニーズに対応できる知識の習得と体制の構築・緊急時対応の確認と周知および訓練
      - ・歯科医療機関との連携・定期的な口腔衛生状態と機能の評価・口腔ケア計画書の策定
    - ② 円滑な看取りケアを提供します。
      - ・利用者および家族へ説明と意向確認・嘱託医師との連携・全職種でのケアと学習
  - (3) リスクマネジメントの実践
    - ① リスク管理委員会を中心に『事故予防や再発事故防止』を実践します。
      - ・事故・ヒヤリハット発生時のタイムリーな報告・即日可能な対策の実践(各職種・専門分野)
      - ・事故の分析と改善指示の実践・薬剤状況の把握と薬剤関係の事故防止
      - ・施設賠償保険による事故発生時の誠意ある対応
    - ② 感染症対策委員会・自衛組織を中心に BCP(感染症・非常災害)の取り組みを実践します。
      - ・感染症リスク意識の保持・自己管理の徹底・近隣の発生状況の把握と共有
      - ・感染症マニュアルの周知と見直し・実践と訓練・クラスター発生時の迅速かつ適切な対応
      - ・防災・防犯・非常災害マニュアルの周知と見直し・実践と訓練・緊急メール導入・備蓄品管理
      - ・感染症や災害予防に資する環境整備(備蓄庫・デイサービス他)
    - ③ 苦情解決第三者委員に対して事故・苦情等の報告を行い、透明性のある運営を行います。
  - (4) 住環境整備
    - ① 安全かつ快適な生活環境を整備します。
      - ・居住環境や共有部の整理整頓・介護用品等の清掃と定期点検・老朽化に伴う設備改修
    - ② 衛生管理を徹底します。
      - ・衛生マニュアルの確認と実践・毎月腸内細菌検査の実施・ノロウイルス検査実施(11・1・3月)
      - ・害虫駆除・排水管清掃・受水槽・循環浴槽の清掃
  - (5) 職員の成長と育成
    - ① 職員個々が専門職としての役割と職責を果たし、各自が目標とする業務に対し探求心・向上心を持ち自己研鑽を重ねます。
      - ・内部研修や法人研修への積極的参加・動画視聴研修の有効活用・外部研修への参加
    - ② 指導職員は職員個々の能力を的確に見極め、キャリアアップ・やる気の継続へ繋がります。
      - ・適時適切な指導・課題の早期解決・ストレスケア・キャリアパス評価・資格取得への支援など
    - ③ 外国人労働者(EPA、技能実習生)に対する適切な指導と友好的な関わりを持ちます。
- ### 3. 職員が元気に働ける組織づくり
- (1) 働きやすい職場環境作り(離職防止への取り組み)
    - ① 健康に働き続けることができる・働きやすい・やりがいのある職場環境を作ります。
      - ・ICT 機器の導入・活用やノーリフティングケアの取り組み
      - ・計画的な有休取得・多様な働き方に対応したシフト作成・配置転換・異動
      - ・労働基準法に基づく健康診断・メンタルヘルスチェック・予防接種の補助
      - ・介護保険法に基づくコンプライアンス遵守体制など
    - ② 離職防止に向けた取組を行います。
      - ・SNS 活用も含む求人活動・福利厚生などの見直し・生産性向上による業務改善と効率化

## 令和8年度 年間行事予定表

月	施設行事	他機関・地域行事
4月	お花見(外気浴)	上須恵区ミニデイサービス
5月	バラ園見学(ドライブ) 蛍見学	上須恵区ミニデイサービス ライフレスキューサポーター会議
6月	映写会	
7月	納涼会	九州老施協研究大会 上須恵区ミニデイサービス 上須恵祇園山笠
8月	喫茶(園内・外出) お盆法要	ライフレスキューサポーター会議
9月	敬老祝賀会 彼岸法要	上須恵区ミニデイサービス
10月	紅葉見学(ドライブ) やきいも	北部ブロック交歓大会
11月	あったかケア(温泉体験やハンドケア等)	上須恵区ミニデイサービス ライフレスキューサポーター会議
12月	忘年会 餅つき	上須恵区もちつき行事
1月	新年祝賀 鏡開き	上須恵区ミニデイサービス
2月	節分行事	ライフレスキューサポーター会議
3月	ひな祭り 彼岸法要	ライフレスキュー管理者会議
随時 実施	ショッピング 映写会 外気浴 作品展	

### 【週間予定及び会議等】

- サークル・レク活動……書道サークル(月1回)、レク活動(随時)
- 会議……スタッフ会議(月1回)、給食会議(奇数月)、フロア・事業所会議(月1回)、  
アネックス恵昭園運営推進会議(偶数月)
- 専門委員会……リスク委員会、感染症対策委員会、褥瘡予防委員会、安全推進委員会、  
身体拘束適正化委員会、虐待防止委員会、ワーカー検討委員会、生産性向上委員  
会  
行事・レク委員会、栄養ケアカンファレンス(月1回および必要に応じ開催)
- 嘱託医回診……毎週月、木曜日
- 訪問歯科……月曜日(および必要時)
- 散髪……理美容(毎月第1月曜日)、散髪(毎月第4日曜日)
- ボランティア……

\*感染症の動向に伴う感染対策に応じ、適宜、開催や実施を検討する。

## 令和8年度 全体研修・訓練予定表

日程	時間	研修内容	担当	備考	訓練内容
4月24日(金)	19:00~ 20:00	令和7年度 事業計画説明会	各部署長		
5月22日(金)	〃	高齢者の特性と基礎看護、救急法 感染症・食中毒の予防と対策①	看護師 栄養士		感染症BCP訓練
6月26日(金)	〃	身体拘束の適正化と虐待防止①	身体拘束適 正化・虐待防 止委員		消防訓練(夜間想定)
7月24日(金)	〃	褥瘡予防と生活リハビリ KY活動(法人合同研修)①	作業療法士 外部講師	*日程変更あ り	
8月28日(金)	〃	コンプライアンス(法人合同研修) (ハラスメント、プライバシー)	外部講師	*日程変更あ り	
9月25日(金)	〃	認知症ケア(法人合同研修)	外部講師	*日程変更あ り	土砂災害訓練・BCP 訓練、防犯訓練
10月23日(金)	〃	感染症予防と対策②	感染症対策 委員		感染症BCP訓練
11月27日(金)	〃	人権研修	外部講師		
12月25日(金)	〃	メンタルヘルス(法人合同研修)	外部講師	*日程変更あ り	消防訓練(昼間想定)
1月22日(金)	〃	ターミナルケア	看護師		
2月26日(金)	〃	生産性向上	生産性向上委 員会		
3月26日(金)	〃	令和7年度事故報告・リスク検討会② 身体拘束の適正化と虐待防止②	リスク管理・身 体拘束適正化・ 虐待防止委員		地震災害訓練・BCP 訓練
法人研修関係	法人新職員研修(*県老施協研修動画視聴) 法人合同研修会(年4回)				
防災・防犯訓練 関係	消防訓練(年2回) 地震訓練(年1回) 土砂・風水害訓練(年1回) 防犯研修(年1回) 感染症・非常災害BCP訓練(年2回)				

\*感染症の動向に伴う感染対策に応じ、適宜、開催や実施を検討する。

\*研修・訓練内容により、ジョブメドレーアカデミー・関係団体・YOUTUBE等の動画研修を活用する。

# 令和8年度 特別養護老人ホーム恵昭園ショートステイ 事業計画

## I 事業目標

「施設運営の経営の充実と法人経営の安定を目指す」

## II 施設目標

利用者様・ご家族から選ばれる施設を目指し、ケアの質の向上を図ります。

## III 具体的計画

### 1. 「持続性のある法人運営」のための経営基盤の強化

(1) 平均利用者数8.5人/日以上の稼働率を意識して、円滑な受け入れを行います。

① 新規利用者の積極的な受け入れ

- ・法人本部と協力し広報・営業活動・関係機関との信頼関係作り・ニーズ把握
- ・固定利用者やロングショートの利用中止等の大幅な稼働率への影響に対し、新規利用者確保に向け迅速に対応

② 再利用・定期利用へのアプローチ

- ・利用者・家族が安心して利用できるような関わり・利用日の振替や定期利用などの提案

③ 可能な範囲での柔軟な受け入れ対応

- ・緊急利用の受け入れ・利用の追加(延長)・利用者・家族の要望に応じた柔軟なサービス提供

④ 施設入所への窓口としての利用の受け入れ

- ・近い将来の施設入所の可能性を考えた時の、きっかけとしての利用を受け入れる

(2) 適正な収支管理と事務業務

① 職員全員が事業所の収支状況を意識し、健全な経営を目指します。

- ・収入増加やコスト削減の視点・サービスの見直し・業務効率化の推進

② 予算に基づいた収入・支出を適正におこないます。

③ 介護保険に沿った介護請求を適正に行います。

(3) 地域や外部機関との信頼関係の構築

① 地域主催の行事への参加を通して地域社会との連携を図ります。

② 「ふくおかライフレスキュー事業」の情報を共有し、積極的に活動に参加します。

### 2. 質の高いサービス提供のための人材育成と環境整備

(1) 利用者・家族との信頼関係の構築

① 選ばれる施設に向けて信頼を得るサービスを提供します。

- ・利用者・家族のニーズの的確な把握と情報共有・個々の暮らし振りが継続できる支援
- ・送迎時等のコミュニケーション・利用状況報告書(及び連絡ノート)等の有効活用・個々の要望(依頼事)等の履歴管理と周知・アンケート調査の実施

② サービス担当者会議に積極的に参加し、利用者・家族・担当ケアマネジャー・各サービス事業者間との連携・情報共有に努め、関係職種・職員へ情報提供及び周知を図ります。

(2) 介護サービスの充実

① 利用者に対し意図的・積極的に関わり、安全で安心できる生活の場を提供します。

- ・新規利用時の精神的負担の緩和・リスクマネジメントの視点・詳細な記録・情報共有
- ・認知症等による行動障害・精神症状に対する予測・予防的な支援・安心できる対応
- ・計画的かつ個別的プログラムの検討と実施

② 基本サービスの改善及び充実を目指します。

- ・職員によるサービス評価・業務の見直し・業務改善・記録のデジタル化

③ 行事・レク委員会を中心に季節感を感じられる環境作りや利用者に応じた行事等を企画・実施し

ます。

- ④ ITを活用した業務改善及び効率化を図ります。
  - ・各種ソフト(介護、勤怠、会計、給与)の積極的活用・ペーパーレスへの取り組み

### (3) リスクマネジメントの徹底

- ① リスク管理委員会を中心に『事故予防や再発事故防止』を実践します。
  - ・利用時毎の利用者の体調や状態変化等の情報収集・関係職種間での確実な伝達
  - ・利用中の継続的な観察・再発防止や事故予防(予測)に有効活用できるような記録
  - ・施設賠償保険による事故発生時の誠意ある対応
- ② 苦情解決第三者委員に対して事故・苦情等の報告を行い、透明性のある運営を行います。
- ③ 感染症対策委員会・自衛組織を中心にBCP(感染症・非常災害)の取り組みを実践します。
  - ・感染症リスク意識の保持・自己管理の徹底・近隣の発生状況の把握と共有
  - ・利用前の検温(在宅・施設到着時)・送迎車両や福祉用具の消毒・
  - ・発熱など体調不良時の早期対応・利用可否の早期判断・家族および関係機関への報告
  - ・感染症マニュアルの周知・実践と訓練・クラスター発生時の迅速かつ適切な対応
  - ・防災・防犯・非常災害マニュアルの周知と実践および訓練・緊急メール導入・備蓄品の管理

### (4) 健康管理

- ① 看護スタッフを中心に状態把握・維持に努めます。
  - ・日々のバイタルチェック・心身の状態観察・家族等への相談・報告・有事の際の迅速対応
  - ・利用者の持参薬の把握・徹底した管理・薬剤関係の事故回避

### (5) リハビリテーション・生活支援の実施

- ① 利用者の機能維持や在宅生活が継続できるよう、リハビリ職員と共に支援を実践します。

### (6) 住環境整備

- ① 生活環境としての快適性、利便性、安全性を追求し、必要な対策を速やかに行います。
  - ・居住環境や共有スペースの整理整頓・感染症や災害予防に資する環境整備
  - ・介護用品等の清掃および定期的な点検・老朽化に伴う設備改修
- ② 衛生管理を徹底します。
  - ・衛生マニュアルの確認と実施・毎月腸内細菌検査の実施・ノロウイルス検査実施(11・1・3月)
  - ・害虫駆除・排水管清掃・受水槽・循環浴槽の清掃・感染予防

### (7) 職員資質の向上

- ① サービスの質やチーム力を高めます。
  - ・職員個々が専門職としての役割を自覚し遂行します。また各自が目標とする業務に対し探求心や向上心を持ち続け自己研鑽を重ねます。
  - ・フロア会議の開催・職員間の情報共有・意思統一
  - ・内部研修や法人研修への積極的参加・動画視聴研修の有効活用・外部研修への参加
- ② 指導職員は職員個々の能力を的確に見極め、キャリアアップ・やる気の継続へ繋げます。
  - ・適時適切な指導・課題の早期解決・ストレスケア・キャリアパス評価・資格取得への支援など

## 3. 職員が元気に働ける組織づくり

### (1) 働きやすい職場環境作り(離職防止への取り組み)

- ① 健康に働き続けることができる・働きやすい・やりがいのある職場環境を作ります。
  - ・ICT機器の導入・活用やノーリフティングケアの取り組み
  - ・計画的な有休取得・多様な働き方に対応したシフト作成・配置転換・異動
  - ・労働基準法に基づく健康診断・メンタルヘルスチェック・予防接種の補助
  - ・介護保険法に基づくコンプライアンス遵守体制など
- ② 離職防止に向けた取組を行います。
  - ・SNS活用も含む求人活動・福利厚生などの見直し・生産性向上による業務改善と効率化

# 令和8年度 アネックス恵昭園 事業計画

## I 事業目標

「施設運営の経営の充実と法人経営の安定を目指す」

## II 施設目標

ユニットケアの理解を深め、入居者一人一人が、自分らしい暮らしを送ることができるよう支援する。

## III 具体的計画

### 1. 「持続性のある法人運営」のための経営基盤の強化

#### (1) 安定した利用実績の達成

- ① ベッド稼働率の維持を目指します。(年間目標値:平均 18.6 名/日)。
  - ・円滑な入所調整・入所申込者への定期的な状況確認・月次予算人数の達成
  - ・入院及び長期入院の予防に資する観察や早期アプローチ
  - ・緊急性などを考慮した新規申込者の積極的受け入れ
- ② 法人本部と協力し営業・広報活動に努め、新規申込者(待機者)の確保に繋がります。

#### (2) 適正な予算管理と事務業務

- ① 職員全員が事業所の収支状況を共有し、健全な経営を目指します。
  - ・収入増加やコスト意識の視点・サービスの見直し・業務効率化の推進
- ② 予算に基づいた収支管理、介護・利用料請求、預り金管理、保険証等管理を適正に行います。
- ③ 新たな加算の取得に取り組めます。

#### (3) 地域や外部機関との信頼関係の構築

- ① 運営推進会議を通して、推進委員と情報共有し、風通しの良い施設作りに努めます。
- ② 外部機関・団体と積極的に関わり、関係作り・良好な関係性の継続に努めます。
  - ・須恵町・上須恵区(ミニデイサービス他)・社会福祉協議会・地域包括支援センター(オレンジリング、認知症サポーター他)
  - ・ふくおかライフレスキュー事業
- ③ 自然災害等の有事の際は、福祉避難所としての機能を確保します。

### 2. 質の高いサービス提供のための人材育成と環境整備

#### (1) 利用者の尊厳の固持とサービスの充実・向上

- ① 入居者個々の自分らしい暮らし振りの継続に着目した介護サービスを提供します。
  - ・情報収集と情報共有・24時間シートの活用と随時更新・状態や意向に応じた柔軟な対応
  - ・ユニットケアや個別ケア(ケアプラン)および暮らしの視点を重視したケアの実践
  - ・行事・レク委員会を中心に季節を感じる環境作りや行事等の企画・実施
  - ・生産性向上委員会を中心に業務効率化や業務改善を推進
  - ・業務マニュアルの見直しを行い、統一した介護サービスの提供が出来る人材育成と環境整備
- ② 廃用症候群予防や機能維持ができるリハビリテーションと生活支援を実践します。また、必要な福祉用具・介護機器を導入します。
- ③ 関係職種や給食委託業者との連携し、健康維持や満足度の向上につながる給食サービス・栄養マネジメントを実践します。
- ④ 褥瘡対策委員会を中心に『褥瘡ゼロ』を継続します。
  - ・日々の観察と早期対応・褥瘡予防アセスメントの評価と活用・予防および治療対策の実践
- ⑤ 身拘束適正化委員会・虐待防止委員会を中心に身体拘束・虐待防止の理解を深めます。
  - ・関係法令の学習と遵守・不適切なケアの改善(職員セルフチェック、早期発見チェック他)

- ・職員のストレスケアへの取り組みの推進(ストレスチェック他)
  - ⑥ ITを活用した業務改善及び効率化を図ります。
    - ・各種ソフト(介護、勤怠、会計、給与)の積極的活用・ペーパーレスへの取り組み
  - ⑦ 家族と良好な関係を保ちます。
    - ・アンケートの実施・面会時の情報提供・面会制限に伴う心理的負担へのアプローチ
    - ・制度改正等に伴う情報提供と同意への迅速な対応
  - (2) 健康状態の維持と医療連携
    - ① 高齢者の特性を理解し、急変時に速やかな対応が取れるよう医療と連携を図ります。
      - ・情報収集や心身の状態把握・定期健診の実施・嘱託医師との連携・家族の意向確認
      - ・医療ニーズに対応できる知識の習得と体制の構築・緊急時対応の確認と周知および訓練
      - ・歯科医療機関との連携・定期的な口腔衛生状態と機能の評価・口腔ケア計画書の策定
    - ② 円滑な看取りケアを提供します。
      - ・利用者および家族へ説明と意向確認・嘱託医師との連携・全職種でのケアと学習
  - (3) リスクマネジメントの実践
    - ① リスク管理委員会を中心に『事故予防や再発事故防止』を実践します。
      - ・事故・ヒヤリハット発生時のタイムリーな報告・即日可能な対策の実践(各職種・専門分野)
      - ・事故の分析と改善指示の実践・薬剤状況の把握と薬剤関係の事故防止
      - ・施設賠償保険による事故発生時の誠意ある対応
    - ② 感染症対策委員会・自衛組織を中心にBCP(感染症・非常災害)の取り組みを実践します。
      - ・感染症リスク意識の保持・自己管理の徹底・近隣の発生状況の把握と共有
      - ・感染症マニュアルの周知と見直し・実践と訓練・クラスター発生時の迅速かつ適切な対応
      - ・防災・防犯・非常災害マニュアルの周知と見直し・実践と訓練・緊急メール導入・備蓄品管理
      - ・感染症や災害予防に資する環境整備(備蓄庫・デイサービス他)
    - ③ 苦情解決第三者委員に対して事故・苦情等の報告を行い、透明性のある運営を行います
  - (4) 住環境整備
    - ① 個室ユニットの特性を活かし安全かつ快適な居住空間・生活環境を整備します。
      - ・居住環境や共有部の整理整頓・介護用品等の清掃と定期点検・老朽化に伴う設備改修
    - ② 衛生管理を徹底します。
      - ・衛生マニュアルの確認と実践・毎月腸内細菌検査の実施・ノロウイルス検査実施(11・1・3月)
      - ・害虫駆除・排水管清掃・受水槽・循環浴槽の清掃
  - (5) 職員の成長と育成
    - ① 職員個々が専門職としての役割を自覚し遂行します。また各自が目標とする業務に対し探求心や向上心を持ち続け自己研鑽を重ねます。
      - ・内部研修や法人研修への積極的参加・動画視聴研修の有効活用・外部研修への参加
    - ② 指導職員は職員個々の能力を的確に見極め、キャリアアップ・やる気の継続へ繋がります。
      - ・適時適切な指導・課題の早期解決・ストレスケア・キャリアパス評価・資格取得への支援など
- ### 3. 職員が元気に働ける組織づくり
- (1) 働きやすい職場環境作り(離職防止への取り組み)
    - ① 健康に働き続けることができる・働きやすい・やりがいのある職場環境を作ります。
      - ・ICT機器の導入・活用やノーリフティングケアの取り組み
      - ・計画的な有休取得・多様な働き方に対応したシフト作成・配置転換・異動
      - ・労働基準法に基づく健康診断・メンタルヘルスチェック・予防接種の補助
      - ・介護保険法に基づくコンプライアンス遵守体制など
    - ② 離職防止に向けた取組を行います。
      - ・SNS活用も含む求人活動・福利厚生などの見直し・生産性向上による業務改善と効率化

## 令和8年度 介護老人保健施設若杉の里 事業計画

### 事業目標

「経営の充実と法人運営の安定を目指す」

### 具体的計画

#### 1. 「継続性のある法人運営」のための経営基盤の強化

- ①法人の持続的成長と安定経営を実現するため、適切な財務管理の基盤を構築する。
- ②社会福祉法人運営の基盤強化を推進し、業務の正確性と効率性を向上させ、安定した運営体制を確立する。
- ③職員一人ひとりが主体性を持ち、理念と目標を共有しながら協力し、より良い法人づくりと発展し続ける組織運営に努める。
- ④災害時の事業継続を確保するため、BCPの策定や見直し、訓練の充実に努める。また、法人内や地域、異業種と連携し、有事の際に迅速に対応できるネットワークと支援体制を構築する。
- ⑤法人の魅力や日々の活動、サービス内容等を広く発信し、職員間の情報交換を促進するとともに、人材採用や利用者確保につなげていけるよう外部に向けて情報発信を強化し、法人の認知度向上を図る。

#### 2. 質の高いサービス提供のための人材育成と環境整備

- ①質の高いサービス提供を行うチーム・組織づくりのために、専門職としての知識と技術の向上、自己研鑽に努め、常に創意工夫と改善を行う。
- ②より良いサービスを提供するため、P(計画)、D(実行)、C(評価)、A(改善)のサイクルに則り業務に取り組む。
- ③職員が安心して働ける環境を整え、職員の確保・定着を促進する。  
ライフワークバランスを重視した運営を推進し、業務の効率化・デジタル化を進めることで、質の高い支援を提供できる体制を構築する。
- ④年間行事計画に基づき、季節感や彩りを重視したメニューの充実を図り、食事を通じた楽しみや生活の質向上に取り組む。
- ⑤行事食にお品書きを作成し、視覚的な楽しさや食事の雰囲気づくりに努める。
- ⑥利用者の状態に応じて栄養補助食品を適切に活用し、栄養状態の維持・改善を図る。

#### 3. 職員が元気に働ける組織づくり

- ①ジェンダーにとらわれることなく、働き方に多様性をもたせ、職員のライフスタイルに合わせ安心して働ける環境を促進する。
- ②職員の満足度調査を実施し、職員の声を事業運営に反映させ、職員が余裕を持って働ける環境を促進する。
- ③有休・メモリアル休暇などのライフスタイルに合わせた取り方が出来るような体制作りを行う。
- ④ライフワークバランスを図り、職員間で協力を行い誰もが働きやすく、そして働き続けられる職場作りを目指す。

令和 8年度 介護老人保健施設『若杉の里』年間行事計画表

月	行 事 名	実施予定時期	対象フロア	備考(実施場所等)
4月	お花見弁当	3(金)	全 階	
	ミニお出かけ	13(月)	2 階	
	ミニお出かけ	15(水)、22(水)	3 階	
	茶話会	19(日)	全 階	
5月	ミニお出かけ	11(月)	2 階	
	バラ見物	13(水)	3 階	
	茶話会	17(日)	全 階	
	七福会	21(木)	3 階	
	ミニドライブ	27(水)	4 階	
6月	お楽しみ献立	5(金)	全 階	
	室内運動会	10(水)	3 階	
	茶話会	21(日)	全 階	
	ミニお出かけ	17(水)	3 階	
	大喫茶会	22(月)	2 階	
	ミニドライブ	24(水)	4 階	
7月	夏祭り	8(水)	4 階	
	ミニお出かけ	8(水)	3 階	
	夏祭り	15(水)	2 階	
	茶話会	19(日)	全 階	
	夏祭り	22(水)	3 階	
8月	茶話会	16(日)	全 階	
	大映画祭	17(月)	3 階	
	七福会	19(水)	3 階	
	お楽しみ献立	24(月)	全 階	
	ミニお出かけ	26(水)	3 階	
9月	ミニお出かけ	7(月)、28(月)	2 階	
	寿老の集い	16(水)	全 階	
	茶話会	20(日)	全 階	
	ミニお出かけ	23(水)	2 階	
10月	ミニお出かけ	7(水)、14(水)	3 階	
	茶話会	18(日)	全 階	
	ミニお出かけ	19(月)	2 階	
	大喫茶会	26(月)	2 階	
	ミニドライブ	28(水)	4 階	
11月	お楽しみ献立	5(木)	全 階	
	菊花展見物	9(月)、26(木)	2 階	
	菊花展見物	11(水)	3 階	
	茶話会	15(日)	全 階	
	菊花展見物	18(水)	4 階	
	七福会	19(水)	3 階	
	ミニお出かけ	25(水)	3 階	
12月	忘年会	16(水)	3階、4階	
	忘年会	17(木)	2 階	
	茶話会	20(日)	全 階	
	もちつき	23(水)	全 階	

月	行 事 名	実施予定時期	対象フロア	備考(実施場所等)
1月	新年祝賀式(お正月献立)	1(金)	全 階	
	初詣	6(水)、13(水)	3 階	
	鏡開き	11(月)	全 階	
	初詣	14(木)、18(月)	3 階	
	茶話会	17(日)	全 階	
	初詣	27(水)	4 階	
2月	節分(芋ぜんざい)	3(水)	全 階	
	ミニお出かけ	3(水)	3 階	
	七福会	18(水)	3 階	
	茶話会	21(日)	全 階	
	大喫茶会	22(月)	2 階	
	梅見物	24(水)	3 階	
3月	ひな祭り(行事食)	3(水)	全 階	
	茶話会	21(日)	全 階	
	お花見	22(月)、29(月)	2 階	
	お花見	24(水)、25(木)	3 階	
	お花見	31(水)、4/1(木)	4 階	

《定期的行事》

早川一座…不定期                      動物とのふれあい活動…不定期  
 カフェタイム(4階)…偶数月/第2月曜日

《災害時訓練等》

消防訓練…6, 12月  
 地震時避難訓練…8月  
 風水害時避難訓練…2月

〈その他〉

・7/7(火):七夕そうめん                      ・7/26(日):土用丑の日  
 ・12/24(木):クリスマス献立・ケーキ                      ・12/31(木):年越しそば  
 ・1/7(水):七草がゆ

## 令和 8年度 内部研修計画

月	内 容	担 当 者	BCP 訓練・研修
4	緊急時の対応・事故防止	リスク管理委員会	
5	ポジショニング	リハビリスタッフ	
6	感染防止・食中毒予防	感染委員会・厨房職員	消防訓練
7	リスクと事故防止 (KY活動)	外部講師	感染症 BCP訓練
8	コンプライアンス・プライバシー 保護・個人情報について	外部講師	地震時避 難訓練 BCP訓練
9	虐待防止について(同和問題)	リスク委員会	
10	リスクと身体拘束廃止について	リスク管理委員会	防犯訓練 BCP訓練
11	認知症ケア(若杉の里、恵昭園合同)	外部講師	
12	メンタルヘルス	外部講師	消防訓練
1	感染防止・食中毒予防	感染委員会・厨房職員	感染症 BCP訓練
2	身体拘束廃止について	リスク委員会	風水害時 避難訓練 BCP訓練
3	虐待防止について	部署代表	

## 令和8年度 養護老人ホーム双葉事業計画(案)

### I 事業目標

「経営の充実と法人運営の安定を目指す」

### II 具体的計画

#### 1. 「継続性のある法人運営」のための経営基盤の強化

- (1) 措置費基準単価改正のため、太宰府市への定期的なアプローチ訪問と情報交換を行います。
- (2) 各市町村へのロビー活動とアピールで満床を目指します。
- (3) 収支バランスを念頭に無駄のない財務管理を徹底し、情報はスタッフ会議等で共有します。
- (4) 入所希望者に対する施設見学および面接の迅速な実施、措置機関への情報提供を行います。
- (5) 業務改善プロジェクトを活用し、業務のムリ・ムラ・ムダを検証します。
- (6) 個々の健康状態を把握し、異常があればすぐに受診をする体制を整えることで、利用率の向上に努めます。
- (7) 医療機関への入院が長期間にならないよう、職種間の情報共有を行います。
- (8) 食材管理を徹底してロスを減らし、工夫した調理でコストを抑えつつ満足度を高めます。

#### 2. 質の高いサービス提供のための人材育成と環境整備

- (1) 積極的に外部研修や、他の養護老人ホームへの見学・交流に参加出来るよう環境を整えます。
- (2) 備品等に修繕・交換が必要となった場合は、迅速に対応出来るように努めます。
- (3) マニュアルの作成・更新、職員への周知徹底を行います。
- (4) BCPに基づく研修・訓練を実施します。(感染BCP・災害BCP)
- (5) 支援員の技術、知識の向上を図るための勉強会を実施します。
- (6) 現状に応じた業務の見直しを行い、全職員への周知徹底に努めます。
- (7) 味付けの幅を広げ、利用者の嗜好を踏まえた柔軟な対応力の習得を目指します。

#### 3. 職員が元気に働ける組織づくり

- (1) 適切な労務管理を行い、職員への不利益が生じないように努めます。
- (2) 他部署とも情報を共有しながら連携を図り、思いやりと心配りの出来る風通しの良い職場作りを目指します。
- (3) 有休、希望休が取得しやすい環境作りを行い、心身安定のためのリフレッシュを図ります。
- (4) 職員健診後の再検査を促し、自己での体調管理が出来るように指導します。
- (5) 業務内容や役割分担を見直し、連続勤務を避けるなど身体的負担にも配慮します。

## 令和 8 年度 年間行事計画表(案)

月	施設行事 (計画)	他機関・地域行事 (予定)
4 月	新緑鑑賞・園庭散策	
5 月	グリーンカーテン作り 防災訓練(風水害)*又は6月上旬(梅雨前)、防災研修	
6 月		クリーンデー
7 月	七夕飾り 消防訓練(夜間)	
8 月	お盆法要	
9 月	彼岸法要、寿老の集い	防災訓練 (地域合同三条区・三条台区)
10 月	お月見会	
11 月	秋まつり、チューリップ植え、菊花展見物 防災訓練(地震)	
12 月	ミニドライブ、クリスマスおやつ会、餅つき	クリーンデー
1 月	新年祝賀会 消防訓練(昼間)	
2 月	節分豆まき	
3 月	彼岸法要、お花見	

**【利用者の週間予定】**

- 余暇・レク活動 …… カラオケ(第1・第3月曜日)、園芸(随時)  
パトゴルフ(毎月1回午後、7月～9月午前、12～2月は中止)  
地域清掃/あいさつ通り(第4月曜日)

**【諸会議等】**

- 会議・専門委員会 …… スタッフ会議、給食会議  
リスク管理委員会、サービス向上委員会、行事実行委員会、ケース委員会  
防災対策委員会、感染防止対策委員会

**【嘱託医回診】**

…… 毎週(金曜日)

**【訪問歯科】**

…… 毎週(木曜日)

**【散髪・理容】**

…… 散髪(第3月曜日)、ナイスラン(第1金曜日)

## 令和 8年度 全体研修計画案（養護 / 双葉関係）

月	(実施時間)	研修内容	担当職種	実施日
4月	18:45 ~ 19:15	・全体会議	・施設長	
5月	18:45 ~ 19:15	・防災研修 ・消防機器等の取扱い(宿直者対象)	・防災委員	
6月	18:45 ~ 19:45	・感染症対策 ・食中毒予防	・看護職 ・栄養士	
7月	19:00 ~ 20:00	・KY活動(合同研修)	・法人研修委員	
8月	19:00 ~ 20:00	・コンプライアンス(合同研修)	・法人研修委員	
9月	18:45 ~ 19:45	・緊急時救急対応 ・同和問題	・看護職 ・研修委員	
10月	18:45 ~ 19:45	・災害時BCP	・防災委員	
11月	19:00 ~ 20:00	・認知症ケア	・法人研修委員	
12月	19:00 ~ 20:00	・メンタルヘルス(合同研修)	・法人研修委員	
1月	18:45 ~ 19:15	・感染症BCP	・感染委員	
2月	18:45 ~ 19:45	・高齢者虐待、身体拘束	・相談員	
3月	18:45 ~ 19:45	・防犯研修(講習・訓練)	・防災委員	

※ 研修開催が難しい場合は、各研修の資料配布を行うこととする。

■ 法人全体で計画する職員研修

- 新職員研修
- 中堅職員研修
- スキルアップ研修
- 実務研修
- 合同研修

■ その他の研修

- 施設外研修(関係機関研修、その他)

# 令和8年度 特別養護老人ホームなの国 事業計画

## I 事業目標

「経営の充実と法人運営の安定を目指す」

1. 入居稼働率の向上を目指す。
2. “選ばれる施設”となる為、入居者のQOL向上と情報発信に注力する。

## II 具体的計画

### 1. 「継続性のある法人運営」のための経営基盤の強化

- ① 入退居管理の円滑化を図り、安定した稼働率の維持・向上に取り組む。
- ② 医療機関・在宅サービス事業所・地域関係機関との情報交換や連携を強化する。
- ③ 加算算定要件を満たすケアプラン・栄養ケア・機能訓練計画の管理を徹底する。
- ④ 指導・監査に耐えうる記録整備と運営体制の維持・強化を図る。
- ⑤ ブログやSNS等を活用し、施設の取り組みや実績を外部へ発信する。

### 2. 質の高いサービス提供のための人材育成と環境整備

- ① ユニットケアを推進し、入居者一人ひとりの個性や生活歴を尊重した支援を行う。
- ② 多職種カンファレンスを通じて情報共有を密にし、チームケアの充実を図る。
- ③ 個別機能訓練・栄養ケアマネジメントを継続的に実施し、心身機能の維持・向上に努める。
- ④ 事故防止・感染症対策・福祉用具管理を徹底し、安全な生活環境を整える。
- ⑤ 研修・実技指導を計画的に実施し、職員の専門性とケアの質向上を図る。

### 3. 職員が元気に働ける組織づくり

- ① 役割分担の明確化と業務の見直しにより、業務負担軽減と残業削減を図る。
- ② 有給休暇が取得しやすい体制を整え、ワークライフバランスの充実を図る。
- ③ ノーリフティングケアの推進により、腰痛予防と安全な介護環境を整備する。
- ④ 研修・面談・意見交換の場を設け、職員の不安や課題を共有・解消する。
- ⑤ 働きがいと一体感のある職場づくりを進め、人材定着と離職防止につなげる。

## 令和 8 年度 全体研修予定表

日 程	時 間	研 修 内 容	担 当	備 考
4 月第 3 木曜日	18:30 ~ 19:30	理念に基づく行動指針について ユニットケアについて	施設長 介護職員	
5 月第 3 木曜日	18:30 ~ 19:30	食中毒の予防と対策	栄養士	法定
6 月第 3 木曜日	18:30 ~ 19:30	身体拘束廃止について① 高齢者虐待について	相談員	法定
7 月第 3 木曜日	18:30 ~ 19:30	コンプライアンスについて プライバシー保護について 個人情報保護について	外部講師	法定
8 月第 3 木曜日	18:30 ~ 19:30	KYトレーニングについて リスクマネジメント①	外部講師	法定
9 月第 3 木曜日	18:30 ~ 19:30	ターミナルケアについて	看護師 相談員	法定
10 月第 3 木曜日	18:30 ~ 19:30	感染症、褥瘡の予防と対策について	看護師	法定
11 月第 3 木曜日	18:30 ~ 19:30	認知症の理解	久野相談員	法定
12 月第 3 木曜日	18:30 ~ 19:30	メンタルヘルスについて	外部講師	法定
1 月第 3 木曜日	18:30 ~ 19:30	身体拘束廃止について② 苦情について	手嶋管理者	法定
2 月第 3 木曜日	18:30 ~ 19:30	リスクマネジメント② 介護技術講習会	介護職員 リハビリ	法定
3 月第 3 木曜日	18:30 ~ 19:30	防犯、防災、BCP について	法人防災委 員会	
その他の研修予定				
新入職員研修会				
リーダー研修				
新入職員フォローアップ研修				
中堅職員研修				
救命救急研修				
施設外研修				

## 令和 8 年度 年間予定表

月	施 設 行 事	地域行事・他
4 月	お茶会(お花見) ドライブ	壱岐校区河川清掃
5 月	春の運動会	
6 月	買い物行事	
7 月	外食行事	
8 月	花火鑑賞会 買い物行事	
9 月	敬老祝賀会	
10 月	コスモス見学 みかん狩り	
11 月	紅葉狩り 文化祭	壱岐校区文化祭
12 月	クリスマス会 ユニット忘年会	壱岐校区河川清掃
1 月	新年祝賀会 初詣 鏡開き	
2 月	節分 バレンタイン	
3 月	ひな祭り 外出行事	
<b>その他月間予定・週間予定</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>● サークル活動・・・ 月 1 回作品作り</li> <li>● パン販売      ・・・ 毎月 1 回</li> <li>● お刺身提供   ・・・ 毎週 1 回(希望者のみ)</li> <li>● 移動販売      ・・・ 毎月 2 回</li> </ul>		

## 令和8年度 ショートステイなのくに 事業計画

### I 事業目標

「経営の充実と法人運営の安定を目指す」

- 1 稼働率の向上と安定的な利用の確保
- 2 安心と信頼を得る質の高いサービスの提供

### II 具体的計画

#### 1 「継続性のある法人運営」のための経営基盤の強化

- ① 新規利用者受け入れの際は迅速かつ丁寧に対応し、利用者および家族が安心して利用できるよう、こまめな情報共有と密な関わりを行い、再利用や定期利用へとつなげる。  
月間平均稼働率17.5名以上の維持を目標とする。
- ② 緊急受け入れや急な予定変更にも柔軟に対応できる体制を整え、特養相談員等と都度情報を共有しながら空床の有効活用を図る。また、担当ケアマネジャーへの定期的な情報提供を行い、  
信頼関係の強化と継続利用の促進に努める。

#### 2 質の高いサービス提供のための人材育成と環境整備

- ① ショートステイフロア会議を定期的で開催し、東西ユニット間の連携強化を図るとともに、情報共有・意思統一を徹底し、チーム力の向上に努める。
- ② 利用時ごとの体調や状態変化を的確に把握し、看護師・相談員・介護職員等の関係職種間で確実な伝達を行う。通所介護等他サービスとの併用利用者についても部署間での情報共有を徹底し、在宅生活を支える支援を実践する。
- ③ 自立支援・重度化予防の観点を踏まえ、機能維持を意識したケアを取り入れるとともに、職員の基礎的知識・技術の底上げを図る。
- ④ 事故発生時は速やかにフロア会議等で共有し、原因分析および再発防止策を検討・実施することで、安全管理体制の強化に努める。

#### 3 職員が元気に働ける組織づくり

- ① 記録等のICT化を推進し、確実な情報共有と業務効率化を図ることで、時間外労働の削減および心身の負担軽減に努める。また、ユニット間で協力体制を整え、円滑な支援体制を構築する。
- ② キャリアパスシートを活用し、一人ひとりが目標を持って業務に取り組める環境を整えるとともに、スタッフ同士が互いに助言・相談し合える風通しの良い職場づくりを推進する。

## 令和8年度 デイサービスセンターなのくに 事業計画

### I 事業目標

「経営の充実と法人運営の安定を目指す」

- 1 新規利用者を増やし利用率の向上に努める(目標年間稼働人数:18.0人)
- 2 サービスの質の向上、改善に努める

### II 具体的計画

#### 1 「継続性のある法人運営」のための経営基盤の強化

- ① 各居宅介護支援事業所、近隣の福祉サービス事業所等と積極的に情報共有を行い、事業所の特色や空き状況を定期的に発信することで、新規利用者の獲得に努める。
- ② ヘルパーステーション・ショートステイ等の在宅サービスおよび施設サービスとの連携を強化し、利用者の状況に応じた切れ目のない支援を行うことで、法人全体の利用促進および収益向上に努める。

#### 2 質の高いサービス提供のための人材育成と環境整備

- ① 利用者一人ひとりを大切に、信頼関係の構築を基本とした丁寧なケアを実践するとともに、安心・安全に配慮した接遇の向上に努める。
- ② 事業所内で定期的にサービスの振り返りを行い、課題を共有しながら業務改善を図り、チームとして統一した質の高いケアの提供を目指す。
- ③ 外出行事やゲームを取り入れたレクリエーション、季節に応じた工作活動等を工夫し、楽しみや生きがいづくりを支援することで利用者満足度の向上に努める。
- ④ 専門性向上のため、外部研修や法人内研修へ積極的に参加し、知識・技術の習得およびスキルアップを図る。
- ⑤ 新入職員に対しては、段階的な指導体制を整備し、安心して業務に従事できるよう人材育成に努める。

#### 3 職員が元気に働ける組織づくり

- ① 話しかけやすく、相談しやすい風通しの良い職場環境づくりを推進し、職員同士が協力し合える体制の構築に努める。
- ② 定期的に個人面談を実施し、職員の意見や要望を尊重しながら業務内容の改善を図るとともに、健康面への配慮を行い、長く安心して働ける職場づくりに努める。

令和8年度 年間行事予定表

月	施設行事	工作レクリエーション
4月	お花見 おやつ作り(焼きもち) 屋外散歩	春の壁画作成 ペンダント作成
5月	端午の節句 おやつ作り(柏餅) 鯉のぼり見学	鯉のぼり作成
6月	夏野菜の畑作り あじさい見学 七夕に向けて準備	七夕壁画作り ガラスアート
7月	七夕会 飾り山見学 野菜収穫 デザート外出	レジストラップ 夏の壁画
8月	納涼会 おやつ作り(アイスパーティー) 野菜収穫 買い物ツアー	フォトフレーム
9月	敬老会 コスモスドライブ 昼食外出 屋外散歩	文化祭提出作品 置き物工作
10月	運動会 昼食外出 春花の畑作り・種まき	文化祭提出作品 秋の壁画作り・コースター
11月	文化祭 紅葉狩りドライブ 芋掘り	クリスマス作品 冬の壁画
12月	クリスマス会 忘年会 買い物ツアー	干支工作 絵馬壁画
1月	書初め 初詣外出	節分工作
2月	節分 豆まき デザート外出	ひな人形
3月	おひな祭り 菜の花見学	ストラップ作り 春の壁画

## 令和 8 年度 ヘルパーステーションなのくに 事業計画

### I 事業目標

「経営の充実と法人運営の安定を目指す」

- 1、安定した利用者確保と収益基盤の強化により、継続性のある事業運営を確立する。
- 2、質の高い在宅サービスを提供し、地域から信頼され選ばれる事業所を目指す。

### II 具体的計画

#### 1 「継続性のある法人運営」のための経営基盤の強化

- ① 利用者数の安定確保(目標利用者数:9名)
  - ・居宅介護支援事業所、地域包括支援センターとの定期的な情報交換・営業活動を実施します。
  - ・法人内(デイサービス・ショートステイ・施設部門)との連携を強化し、在宅から施設までの一体的な支援体制を構築します。
- ② 加算の適正取得と法令遵守の徹底
  - ・既存加算の算定要件を定期的に確認し、算定漏れや返還リスクの防止に努めます。
  - ・令和 8 年度介護報酬改定内容を踏まえた運営体制の点検を行い、必要な体制整備を継続します。
- ③ 業務の効率化と ICT 活用の推進
  - ・クラウドシステムを活用し、訪問記録・情報共有の迅速化を図ります。
  - ・業務手順の見直しを行い、無駄の削減と生産性向上に取り組みます。
- ④ BCP の実効性向上
  - ・感染症および災害発生時に備え、年 2 回以上の研修・シミュレーションを実施します。
  - ・安否確認・連絡体制の再確認を行い、緊急時対応力の向上を図ります。

#### 2 質の高いサービス提供のための人材育成と環境整備

- ① 個別性を重視したサービス提供の徹底
  - ・利用者の心身の状況や生活環境を把握し、その人らしい生活を支える支援を行います。
  - ・サービス担当者会議等への積極的参加により、多職種連携を強化します。
- ② 研修体制の充実
  - ・年間研修計画に基づき、法定研修(虐待防止・感染対策・BCP 等)を確実に実施します。
  - ・認知症ケア、接遇、倫理・法令遵守など専門性向上の研修を継続します。
- ③ 高齢者虐待防止と権利擁護の推進
  - ・虐待防止委員会の活動を通じ、早期発見・早期対応体制を整備します。
  - ・日常的な声かけ・観察を徹底し、家族との連携を図ります。
- ④ 安全管理体制の強化
  - ・ヒヤリハット事例の共有と分析を行い、事故再発防止に努めます。
  - ・感染症流行時には迅速な情報共有と対応を実施します。

#### 3 職員が元気に働ける組織づくり

- ① 働きやすい職場環境の整備
  - ・有給休暇取得促進と業務の平準化により、ワークライフバランスの向上を図ります。
  - ・ハラスメント防止研修を実施し、安心して働ける職場づくりを行います。
- ② 人材の定着と育成
  - ・定期的な個別面談を実施し、職員の不安や課題の早期把握に努めます。
  - ・外部研修・Web 研修への参加を支援し、スキルアップを促進します。
- ③ 情報共有の強化
  - ・月 1 回の訪問介護会議を開催し、課題共有と改善策の検討を行います。

・クラウドシステムを活用し、迅速な情報伝達体制を維持します。

④ チームワークの向上

・法人合同研修や交流の機会を通じ、部門間連携を深めます。

・感謝や労いの言葉を大切にし、前向きな組織風土を醸成します。

令和8年度 全体研修予定表

日 程	時 間	研 修 内 容	担 当	備 考
4月第3木曜日	16:30 ～17:30	接遇	サービス提供 責任者	
5月第3木曜日	16:30 ～17:30	虐待防止	サービス提供 責任者	
6月第3木曜日	16:30 ～17:30	熱中症対策	サービス提供 責任者	
7月第3木曜日	16:30 ～17:30	プライバシーの保護	サービス提供 責任者	
8月第3水曜日	16:30 ～17:30	食中毒予防	サービス提供 責任者	
9月第3水曜日	16:30 ～17:30	倫理・法令遵守	サービス提供 責任者	
10月第3水曜日	16:30 ～17:30	BCP ライフラインが止まったら？	サービス提供 責任者	
11月第3水曜日	16:30 ～17:30	事故再発防止	サービス提供 責任者	
12月第3水曜日	16:30 ～17:30	感染症対策	サービス提供 責任者	
1月第3水曜日	16:30 ～17:30	ハラスメント対策	サービス提供 責任者	
2月第3水曜日	16:30 ～17:30	認知症ケア	サービス提供 責任者	
3月第3水曜日	16:30 ～17:30	緊急時の対応	サービス提供 責任者	

その他の研修予定

法人新職員研修・法人新職員フォローアップ研修・法人スキルアップ研修・法人合同研修会・  
施設外研修

## 令和8年度 ケアプランセンターなのくに 事業計画

### I 事業目標 「経営の充実と法人運営の安定を目指す」

- 1 利用者動向を見据えた安定的な事業運営の推進
- 2 専門性の向上による質の高いケアマネジメントの継続

### II 具体的計画

#### 1「継続性のある法人運営」のための経営基盤の強化

##### ①入退院等による実績者数の変動を見据えた件数管理と新規受入れ判断

- ・実績者数は、年間を通じて40件を目標とします。
- ・実績者数45%が90代利用者という現状を踏まえ、入退院や看取り等による実績者数の減少を想定した事業運営を行います。
- ・複数の入院が同時期に発生した場合には、在宅復帰が見込めないケースも想定し、実績者数の急減を防ぐため新規受入れのタイミングを判断します。

##### ②新規受入れを契機とした、安定的な相談・依頼の流れの維持

- ・新規受入れは単発の件数補充とならないよう、その後の相談、依頼につながる流れを意識して対応します。
- ・関係機関との情報共有を継続し、必要な時期に円滑な新規対応が行える体制を維持します。

#### 2 質の高いサービス提供のための人材育成と環境整備

##### ①自己研鑽によるケアマネジメント力の継続的な向上

- ・研修参加や日々の支援の振り返りにより、アセスメント力、判断力、調整力の向上に努めます。

##### ②制度改正や多様化する課題に対応できる専門性の維持・更新

- ・介護保険制度改正や虐待防止、感染症・BCP等に関する知識を継続的に更新します。

#### 3 職員が元気に働ける組織づくり

##### ①業務の見直しによる無理のない事業運営体制の整備

- ・ペーパーレス化や業務の効率化を進め、ひとりでも継続可能な業務体制を整えます。

##### ②外部研修への参加を通じた、専門職としての刺激とモチベーション維持

- ・外部研修や地域のケアマネとの学びの場に参加し、新たな視点や刺激を得ることで意欲向上とリフレッシュにつなげます。
- ・研修での発表やファシリテーター等の役割を担う経験も、自己成長とモチベーション維持に活かします。

## 令和8年度 まほろばの里なの国 事業計画

### I 事業目標

「経営の充実と法人運営の安定を目指す」

- ①計画的な営業活動を通して、常時満室を目指します。(目標年間入居数値:40.5名)
- ②待機者確保に努め、また定期的な連絡により待機者の状況把握に努めます。

### II 具体的計画

#### 1. 「継続性のある法人運営」のための経営基盤の強化

- ①年間を通した行事や、日々の活動をInstagramにて発信し、入居者獲得に結び付けます。
- ②入院や退居の要因を未然防止できるよう、日々の健康管理やADL低下防止のための取り組み、福祉用具の提案・設置等を継続して行います。

#### 2. 質の高いサービス提供のための人材育成と環境整備

- ①生活相談の強化を図り、入居者のニーズの把握・精神面の安定や、苦情発生の予防に努めます。
- ②年2回運営懇談を行い(1回はアンケート集計、1回は懇談会開催)、入居者の困りごとや要望の把握に努めます。
- ③かかりつけ医・訪問看護、他事業所等との連携強化を継続して取り組み、医療的な早期発見・早期対応を行います。
- ④感染防止対策を講じながら、午後活動の充実を継続して行い、生活の不活発の予防に努めます。
- ⑤福岡市事業者研修・有料老人ホーム協会等、外部研修(ウェブ会議含む)に計画的な参加を行い職員のスキルアップを目指します。

#### 3. 職員が元気に働ける組織づくり

- ①接遇・コミュニケーション・サ高住に関連する制度理解等、スタッフ会議内で研修を行い職員の資質向上を図ります。
- ②有給休暇を取得しやすい環境整備・協力体制の確立を目指します。
- ③ゴミの分別や裏紙の利用等に努め、自然環境を意識した業務を行います。
- ④勤怠ソフトや介護ソフトのクラウド化導入に伴い、業務の効率化を図ります。

令和8年度 年間行事予定表

月	施設	行事	他機関・地域行事
4月	喫茶の日 午後活動	歌の広場 花見ドライブ	ふれあいサロン(集会所)
5月	喫茶の日 午後活動	映画鑑賞会	ふれあいサロン(集会所)
6月	喫茶の日 午後活動	買い物ツアー 歌の広場	ふれあいサロン(集会所)
7月	喫茶の日 午後活動	映画鑑賞会	ふれあいサロン(集会所)
8月	喫茶の日 午後活動	運営懇談会(アンケート) 歌の広場	ふれあいサロン(集会所)
9月	喫茶の日 午後活動	映画鑑賞会 敬老祝賀会	ふれあいサロン(集会所)
10月	喫茶の日 午後活動	買い物ツアー 歌の広場	ふれあいサロン(集会所)
11月	喫茶の日 映画鑑賞会	午後活動	ふれあいサロン(集会所) 吉岐校区文化祭
12月	喫茶の日 午後活動	クリスマス会 歌の広場	ふれあいサロン(集会所) 餅つき大会(吉岐公民館)
1月	喫茶の日 午後活動	新年祝賀会 映画鑑賞会	ふれあいサロン(集会所)
2月	喫茶の日 午後活動	歌の広場 運営懇談会(集会)	ふれあいサロン(集会所)
3月	喫茶の日 午後活動	花見ドライブ 映画鑑賞会	ふれあいサロン(集会所)

【週間予定及び会議等】

- 散髪・・・ヘアヘルパー(月1回)
- 移動販売・・・とくし丸(月2回)
  - フラップパン(月2回)
  - 五ヶ山豆腐(月1回)
  - 衣料品販売(年4回)
- 電気検針日・・・毎月1日
- 体重測定日・・・毎月第2日曜日
- スタッフ会議・・・毎月1回
- 身体拘束防止会議・・・3ヶ月に1回
- 管理者・給食会議・・・毎月第2木曜日

※ 感染症の状況により変更する場合あり

## 令和 8 年度 なの国ケアスクール 事業計画

### I 事業目標

「経営の充実と法人運営の安定を目指す」

### II 事業所目標

1. 事業の安定的継続と収支バランスの確立
2. 受講生の安定確保と定員充足率の向上
3. 研修内容の質的向上と差別化
4. 地域貢献の推進と情報公開の充実
5. 人材育成と法人内外への人材輩出

### III 具体的計画

#### 1 「継続性のある法人運営」のための経営基盤の強化

- ① 年間事業スケジュールを明確化し、実務者研修(定員 20 名)の開講計画を早期に確定、計画的募集を行うことで定員充足率 80%以上を目指します。
- ② ホームページ・SNS・法人広報誌等を活用し、研修内容・修了後の進路・合格実績等を積極的に発信し、広報力の強化を図ります。
- ③ 福岡市近郊の介護・障害施設や事業所へ大きく広報を行い、安定的な受講生確保につなげます。
- ④ 教育訓練給付制度、介護福祉士修学資金貸付制度等の各種助成制度の案内を徹底し、申請支援体制を整備することで受講のハードルを下げます。
- ⑤ 収支状況を定期的に分析し、教材費・講師体制・運営コストの見直しを図り、安定的な黒字運営を目指します。

#### 2 質の高いサービス提供のための人材育成と環境整備

- ① 講師会議を定期開催し、講義内容・演習方法・アンケート結果を共有し、継続的な質の向上を図ります。
- ② 最新の介護知識・制度改正に対応した教材の更新を行い、実践的かつ現場に即した研修を実施します。
- ③ 実習受入れ施設との連携を強化し、現場で求められる視点・態度・技術を意識した実習プログラムを提供します。
- ④ 介護福祉士国家試験対策講座やフォローアップ研修等のオプション講座を充実させ、他校との差別化を図ります。
- ⑤ 感染症対策・災害時対応マニュアルを整備し、受講生が安心して学べる環境づくりに努めます。

#### 3 職員が元気に働ける組織づくり

- ① 法人内職員への受講促進を図り、有資格者割合の向上とキャリアアップ支援を行います。
- ② 修了生の法人内就職につなげる仕組み(就職相談・見学会・面談機会の提供)を整備し、人材確保に貢献します。
- ③ 職員間の情報共有とコミュニケーションを円滑にし、風通しの良い職場環境づくりに努めます。

令和 8 年度は、単なる「受講生確保」だけでなく、

“修了後の活躍まで見据えたスクール運営”を軸に、法人全体の人材戦略の一翼を担う事業として発展させていくことを目標とします。

# 令和 8 年度 企画推進委員会 事業計画

## I 事業目標

「経営の充実と法人運営の安定を目指す」

## II 委員会目標

委員全員で共通認識を持ち、法人理念を軸とした継続性のある委員会活動を行う。現場の声を原動力に、「まずはやってみる」という思考の下、試行錯誤を繰り返すことを目指す。また、既存の枠組みを越えた相互支援と学びを公正に評価へ繋げ、職員が納得感と成長を実感し続けられる組織構築を目指す。

## III 具体的計画

### 1. 「継続性のある法人運営」のための経営基盤の強化

#### (1) 知見の共有と提言の実施

- 各拠点の課題や成功事例、時代のニーズに合った考え方を集約・共有し、法人理念に基づいた解決策を検討する。
- 検討結果を幹部会議等で提言し、法人全体で統一感のある取り組みを推進する。

### 2. 質の高いサービス提供のための人材育成と環境整備

#### (1) 現場主導型の人事評価システムの再構築と定着

- **評価基準の客観化:** 評価者の主観を排除するため、具体的行動に基づくキャリアパスシートの見直しを検討する。
- **評価者トレーニング:** 評価を行うリーダー層の心理的負担軽減のため、適切なフィードバック技術等を学ぶ研修を企画する。

#### (2) 「法人内交換留学」と学びの機会の創出

- **柔軟な留学スタイル:** 1 日見学から 1 週間程度の実地研修まで、本人や現場の状況に合わせて期間を設定する。
- **テーマ別学習:** 「看取りケア」「ICT 活用」など、特定の学びたいテーマに合わせて留学先のフロアを選べるようにする。
- **成果の還元 (お土産):** 留学後に「自部署で取り入れたいこと」を決め、現場でのプチ改善策として提案・実施する。
- 他法人との交流や施設見学の機会を設ける。また、参加した研修について、有意義な内容等は委員会の中で共有する。

### 3. 職員が元気に働ける組織づくり

#### (1) テクノロジー活用による余力の創出

- ICT ツールの導入や不要な書類の削減を推進し、直接的なサービス時間やスキルアップ、多様な働き方に充てられる時間を創出できるよう情報収集や委員主導による活用を目指す。

#### (2) 「まずはやってみる」スモール改善の推奨

- 「まずはやってみる」を合言葉に、現場単位で明日からできる改善（申し送り方法の変更、備品配置の見直し等）を提案、バックアップする。
- 活動事例を全拠点に展開し、試行錯誤を許容する文化を育てる。

#### (3) 対話プラットフォームと相互支援ネットワーク

- テーマを固定せず、現場の困りごとを柔軟に吸い上げる定期的な情報交換、情報共有を行う機会を設ける。
- 事業所の垣根を越えたリーダー同士の相談ネットワークを構築し、孤立を防ぐゆるい繋がりを作る。

## ≪令和8年度 法人研修委員会 事業計画 ≫

### ① 事業目標

研修を通して職員育成に取り組み、御利用者へのサービス向上を目指す。

### ② 活動内容

#### 1. 定例委員会の開催

法人研修の企画立案。また各施設の研修委員会と連携をはかり、法定研修や合同研修、新職員研修の運営を行う。

#### 2. 研修の企画

##### 1) 新職員研修

- ・各施設において、新職員は入職時に実施
- ・研修内容：感染症、リスク、身体拘束、虐待、BCP

※就業規則、給与規定：事務より実施。施設によっては、新職員研修と一緒に開催

##### 2) 合同研修

- ・法人職員を対象とした法定研修を実施
- ・研修内容：KY活動、コンプライアンス（ハラスメント含む）、メンタルヘルス、認知症ケア
- ・講師は福岡介護労働安定センターへ依頼し、講師の日程に合わせて開催
- ・認知症ケア：令和7年度までは、なの国 久野管理者へ講師依頼。依頼終了に伴い令和8年度の講師や研修の形は検討中。

##### 3) 中堅職員研修

##### 4) スキルアップ研修

##### 5) 実務研修：企画立案中

##### 6) ジョブメドレーアカデミー動画研修やオンライン研修を活用

##### 7) 同和問題：各施設の研修委員へ依頼。

法定研修の虐待防止と抱き合わせで年1回実施。

### ③ 今年度活動計画

- ・新職員研修：随時実施
- ・合同研修：上記4項目を実施
- ・法人研修委員会のシステム作り：委員の入れ替わりに伴い、効率よく研修の企画立案ができるように書式の統一や、必要ならガイドラインを作成する。
- ・実務研修の企画立案、開催：今後の資料作成の進行や、各施設との日程調整にもよるが5～7月もしくは6～8月を目途に開催する。

## 令和8年度 法人広報委員会 事業計画

### I 事業目標

「施設運営の経営の充実と法人経営の安定を目指す」

### II 委員会目標

社会福祉法人恵徳会としての理念を全職員に周知することができるよう努める。

また、法人・施設・事業所の事業活動内容や取組等を利用者・家族・関係機関等外部機関にも発信することで、法人・施設・事業所の理解や周知をしてもらうことができるよう努める。

### III 具体的活動

1. 定期的に委員会を開催し、委員会活動等の進捗状況の確認を行う。
2. ホームページ、パンフレット等の情報発信ツールについて、適宜、検討・見直しを行うなどで、より充実した情報発信ができるように努める。
3. 法人理念について、各拠点への掲示を継続し、全職員への周知とともに家族・関係機関等外部団体にも事業所について理解してもらうように努める。
4. SNS を利用し、施設内の行事や取り組みを発信することで施設の認知度を上げ、ご利用者の集客・職員の採用に繋げることができるよう努める。

# 令和8年度 防犯・防災委員会事業計画

## I 事業目標

「経営の充実と法人運営の安定を目指す」

1. 災害・事故発生時における被害最小化と迅速な初動体制の確立
2. 平時からの備えを強化し、継続的に安全管理体制を向上させる

## II 委員目標

消防法第8条第1項に基づき、社会福祉法人恵徳会が管理運営する特別養護老人ホーム恵昭園・アネックス恵昭園・老人保健施設若杉の里、養護老人ホーム双葉、特別養護老人ホームなの国、サービス付き高齢者向け住宅まほろばの里なの国における火災、地震、風水害、不審者侵入等の予防及び発生時における防火(防災)管理業務について必要な事項を定め、人命の安全確保並びに被害軽減を図ることを目的とする。

## III 具体的計画

### 1 「継続性のある法人運営」のための経営基盤の強化

(防災体制の強化によるリスクマネジメントの確立)

- ① 各施設の防火管理体制(防火管理者・自衛消防隊)の役割を再確認し、緊急連絡網・指揮命令系統を最新情報へ更新します。
- ② 非常用備蓄品(食料・飲料水・衛生用品・発電機等)の数量確認と適正管理を行い、計画的な補充・入替えを実施します。
- ③ 消防設備・非常放送設備・誘導灯・スプリンクラー等の法定点検結果を委員会で共有し、改善が必要な事項は速やかに是正します。
- ④ 各施設の防災マニュアルを見直し、実態に即した内容へ改訂します。
- ⑤ 訓練実施後には必ず振り返りを行い、課題と改善策を文書化し、次回訓練へ反映させます。

### 2 質の高いサービス提供のための人材育成と環境整備

(安全確保能力の向上)

- ① 防災教育を5~6月に実施し、火災・地震・風水害時の初動対応、通報・避難誘導方法の再確認を行います。
- ② 春季・秋季の年2回、実際の火災を想定した総合防災訓練(通報・初期消火・避難誘導)を実施します。
- ③ 風水害・大規模地震を想定した机上訓練(図上訓練)を実施し、管理職の判断力向上を図ります。
- ④ 防犯教育(年1回)を実施し、不審者対応・さすまた使用方法・警察通報手順の確認を行います。
- ⑤ 防犯訓練(年1回)を実施し、実践的な初動対応力の向上を図ります。

### 3 職員が元気に働ける組織づくり

(安心して働ける環境整備)

- ① 事業継続計画(BCP)の年1回以上の見直しを実施し、災害編・感染症編それぞれの実効性を確認します。
- ② 全職員を対象としたBCP研修及び災害・感染症発生時対応訓練を実施し、職員の不安軽減と対応力向上を図ります。
- ③ 災害発生後の職員支援体制(安否確認・参集基準・メンタルケア体制)の整備を行います。
- ④ 福祉避難所開設を想定し、地域公民館・自治体との連携体制を確認・強化します。
- ⑤ 地域防災訓練への参加を通じて、地域との協力体制を構築します。